

各団体における地産地消運動の取組

1 消費者団体

* 埼玉県消費者団体連絡会

- ・構成団体による親子農業体験(田植え、田んぼの草取り、稲刈り、バケツ苗の栽培)等3団体で実施
- ・構成団体による生産者との交流(餅つき、県産野菜を使った料理の試食、収穫体験)
- ・構成団体による「彩のかがやき」の試食
- ・米粉を使った調理実習と米粉の学習
- ・構成団体による地場産野菜を使った料理講習会
- ・第44回埼玉県消費者大会分科会で「食の分科会」を開催(10月7日)
テーマ「世界の食料事情は今～これでいいの?日本の食料自給率～」
世界における食料問題や食料自給率、地産地消について学習
- ・JA女性組織協議会との交流により地産地消の取組の意見交換



体験田植え



体験稲刈り



消費者大会の「食」の分科会

* 埼玉県生協ネットワーク協議会

- ・各会員生協で農業体験・調理実習・試食会・学習会・生産者との交流会を実施
- ・会員生協による生産者との交流会や圃場の見学・収穫体験と試食
- ・県政出前講座による地産地消の学習
- ・米粉の調理実習と試食、学習
- ・埼玉県産米の試食と意見交換
- ・会員生協の各地域での組合員対象のフェスタで地産地消の啓発と県産野菜の販売等実施
- ・JA女性組織協議会との早春交流会で生産者と意見交換
- ・畜産女性いきいきネットワーク埼玉との交流会で意見交換



米粉の調理実習



地産地消の学習会



早春交流会

- * コーペル
- ・彩のかがやきの米粉使用で料理講習会(9月10日)
- ・秩父の酒造会社における酒造り見学(11月)
- ・大利根町古代米生産者クラブの地場産まんじゅうの購入・販売(12月2日)
- ・「コーペルまつり」で地場産野菜及び県産米を使った料理によるPR(12月2日)
- ・地場産の大豆を使って味噌づくり(2月2日)

2 食物・料理栄養関係団体

- * (社)埼玉県栄養士会
- ・「健康づくり協力店」事業の推進
- ・県産農産物を利用したヘルシーメニューづくりとレシピの作成
- ・「さいたま食育ボランティア」への協力
- ・「彩の国・米まつり」への協力
- ・「彩の国・母と子のおにぎり教室」開催
県産米・県産農産物を利用した調理実習・講座
- * (社)埼玉県調理師会
- ・「健康づくり協力店」の推進に協力
- ・地産地消の推進を会員に協力依頼
- * 埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会
- ・県産米「彩のかがやき」を使ったお米・ごはん食セミナー
(米利用親子クッキング)やその他の料理教室(7月～12月) 21か所で開催
- ・埼玉版食事バランスガイドの普及(通年)

3 学校給食関係団体

- * (財)埼玉県学校給食会
- ・学校給食への県産農産物導入の推進
- ・県産農産物利用の食材の開発
- ・学校給食における新たな地場産物の活用方策等に関する調査研究(文部科学省委託事業)
商品開発(21年4月から供給)
米粉めん、冷凍米粉入りナン、冷凍米粉蒸しパン、里いも包子
学校給食用啓発DVDの作成
「給食のおいしいごはんができるまで」、県産米の種まき、田植え、収穫、精米、炊飯及び学校での給食風景までを収録
- ・彩の国ふるさと学校月間に「彩の国学校給食研究大会」の共催と啓発ポスターの作成
- ・配布
- ・関係機関等と協同で県産農畜産物の学校給食への導入に関するリーフレットを作成

し、広く関係者に配布

- ・学校給食調理講習会(栄養教諭、学校栄養職員対象、6月10日)
県産農産物を利用した調理実習
- ・学校給食調理コンクール(栄養教諭、学校栄養職員対象、7月9、29日)
課題献立部門に県産農産物を指定
- ・親子産地見学会の実施(7月23日)
- ・親子料理教室の実施(8月29日)
- ・親子体験教室の実施(10月26日)
- ・学校給食教室(P T A対象、11月5日)
- ・食に関する指導用教材の整備充実

* 埼玉県学校栄養士研究会

- ・学校給食への地場産農産物の積極的な導入
～食育推進基本計画において設定された、
数値目標(使用割合21% 30%)達成に向けて～
- ・学校給食で地域の伝統料理を提供
- ・学校給食での郷土料理の活用と啓発
- ・農業体験等食農教育の推進
～生活科・総合的な学習等を通して～ ～収穫の喜びを給食に～
- ・学校給食料理コンクールへの参加
～地場農産物を献立に取り入れて～
- ・彩の国ふるさと学校給食月間における地場農産物の導入及び啓発
- ・学校給食週間における地場農産物の導入及び啓発
- ・「さいたま食育ボランティア」への協力

4 生産者団体

* J A 埼玉県中央会

- ・彩の国農林業の祭典の開催
「彩の国食と農林業ハーモニーフェスタ」 5月24、25日
「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」 11月1、2日
- ・生産履歴記帳運動の充実強化
- ・JA農産物直売所の運営改善
- ・テレビ埼玉「JA菜発見」番組放送
- ・FM NACK5「彩の国トレたてモーニング」番組放送
- ・ホームページで情報提供
- ・消費者向け情報誌「みらの」発行(年3回発行)
- ・生産者と消費者の交流促進
ブルーベリー・えだまめ収穫、マコモタケ親子体験の実施
- ・ご飯料理教室・ご飯食セミナーの開催
- ・各種イベント会場(さいたまスタジアム等)においてゲーム等を実施し、県産農産物をPR
- ・地場農産物の加工品開発支援

- ・啓発資料の作成
- ・県産米消費拡大運動(純米せんべい購入運動)の実施
- ・JAグループさいたま「地産地消・みんなのよい食プロジェクト」運動の実施
- ・県産麦消費拡大運動(県産麦使用乾麺購入運動)の実施

* JA全農さいたま

- ・生産履歴管理システムの普及促進
- ・ホームページにて農畜産物の情報提供
- ・学校給食会への県産農畜産物の安定供給と連携強化
- ・JA農産物直売所の運営改善支援
- ・県産農畜産物のキャンペーンの実施
彩のかがやき、春野菜、秋冬野菜試食販売等
- ・県内スーパー、量販店販促強化
- ・埼玉県産米交流会実施(彩の米センター ライスランド)
体験田植え(5月17日)中間観察会(8月21、22日)、体験稲刈り(9月27日)
- ・彩の国農林業の祭典の開催
「彩の国食と農林業ハーモニーフェスタ」(5月24、25日 さいたま市)
「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」(11月1、2日、行田市)
- ・畜産フェアにて彩の黒豚販売促進(10月11日、県農林総合研究センター)
- ・レッズランド収穫祭にて黒豚販売促進(10月13日、さいたま市)
- ・レッズランドにて県産農畜産物PR(平成21年1月12日さいたま市)
- ・農機大展示会にて県産農畜産物PR(平成21年1月31日、2月1日)

* 埼玉県森林組合連合会

- ・彩の国農林業の祭典の開催
「彩の国食と農林業ハーモニーフェスタ」 5月24、25日
「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」 11月1、2日
- ・県産木材のPR活動
- ・県産木材認証制度の運営

5 流通・加工関係団体

* (社)埼玉県青果市場連合会

- ・県内7卸売市場とJA埼玉ひびきのとの連携による「新たまねぎ」の流通促進
- ・会報誌への資料掲載と取組に向けたPR

* 埼玉県食品工業協会

- ・ふるさと認証食品制度の活用
- ・県産農産物を利用した加工製品の開発・販路開拓・広報活動

- ・県産農産物(大根、白菜、きゅうり)の契約栽培等の推進
- ・学校給食めんに県産材料を使用
- ・埼玉全35歳大試飲会を開催(10月 埼玉県酒造組合、さいたま市 ソニックシティ)
- ・埼玉ブランド農産物見本市に出展(10月 埼玉県漬物協同組合・埼玉県酒造組合、さいたま市 パレスホテル大宮)
- ・大里アグリフードフェアに出展(1月 埼玉県漬物協同組合 深谷市 渋沢栄一記念館)
- ・埼玉県農商工連携フェアに出展(2月 味噌、醤油、ソース、漬物、酒等 さいたま市 スーパーアリーナ)
- ・「さけ武蔵(酒造好適米)新酒発表会」に出展(3月 埼玉県酒造組合 さいたま市共済会館)

6 商工等指導団体

- * (社)埼玉県商工会議所連合会 _____
 - ・商工業者への活動支援
 - 地元産品を活用した特産品の普及支援、地元特産一次産品を加工した新商品の開発等
- * 埼玉県商工会連合会 _____
 - ・県産農産物を使った特産品等を商工会連合会及び各商工会のホームページで紹介
 - ・商工業者に対する特産品の開発や販路開拓を支援
 - ・商工会地域特産品展示会を開催
 - ・商工まつりにおける開発特産品等の販売促進
 - ・会報「さいたま商工だより」により随時PR(約7万部発行)
 - ・農商工等連携促進法に基づく事業計画承認等の支援
 - ・埼玉農林業賞「地産地消の部」推薦機関及び選考機関として協力
- * (社)埼玉県食品衛生協会 _____
 - ・第57回通常総会においてパンフレットを配布
 - ・第57回埼玉県食品衛生大会(表彰式) (10月17日 埼玉会館小ホール)
 - ・食品衛生責任者養成講習会の受講者にパンフレット配布(4月～3月)
 - ・年2回発行する機関誌でのPR(7月・1月)